

H30年度 ウィズ発達支援センター
児童発達支援自己評価表(公表)

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標・工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		・基準上の配置は十分ですが、活動内容により部屋を分け、落ち着いて過ごすことの出来る環境を整えています。
	②	職員の配置数は適切であるか	○		・基準上の配置は満たしています。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		・活動に合わせて各々の部屋を開放して使用しています。 ・玩具の消毒など、衛生面や環境面での配慮を心掛けています。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○		・定期的な面談で、目標設定と振り返りを行い情報を共有できるよう努めています。
	⑥	保護者等向け評価表により保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか		○	・今年度より開始します。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の改善の内容及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか		○	・今年度より開始します。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○	・外部評価については今後検討します。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		・年数回の法人内研修の参加、また外部研修にも参加し、情報提供を行っています。
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		・保護者との面談・保育園の訪問・リハビリの見学・支援会議や、利用時の児童の様子を踏まえ、個別支援計画を作成しています。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○	・保護者からの聞き取り・行動観察からの評価となっており、共通のアセスメントツールの使用はしていないため、今後の課題とします。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、そのうえで、具体的な支援内容が設定されているか	○		
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		・季節の行事や外出学習、おつかい体験等、様々な経験をすることが出来るよう工夫しています。

適切な支援の提供	⑩	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか	○			
	⑪	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		・支援開始前にミーティングを行い、個々の様子や活動の流れを確認しています。	
	⑫	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		・支援内容を記録、ミーティングで振り返りをし、スタッフ間で情報共有をしています。	
	⑬	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		・日々の支援の様子・評価等をPDFにて保存し、支援に役立てています。記録の簡素化、担当などの工夫も必要かと思われます。	
	⑭	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○			
関係機関や保護者との連携	⑮	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			
	⑯	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○			
	⑰	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか				・現在、利用がありません。
	⑱	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか				・現在、利用がありません。
	⑲	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			
	⑳	移行支援として小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			
	㉑	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			・随時、専門機関と情報交換をしたり、他機関の研修に参加する機会を設けています。
	㉒	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		・事業所としての交流はありませんが、必要に応じて個別に保育園への移行支援や交流を行っています。
	㉓	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○			・自立支援協議会子ども部会や地域発達支援会議等の参加をしています。
	㉔	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			
	㉕	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか		○		・事業所としてペアレント・トレーニングは行っていませんが、他機関が行うペアレント・トレーニングの研修等の案内を配布するなど、情報提供を行っています。

保護者への説明責任等	③②	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		
	③③	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		・定期的に面談を行い個別支援計画についての説明をし、同意をいただいています。
	③④	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		・定期的な面談の他、必要に応じて相談に応じています。
	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		・就学説明会・保護者会・放課後等デイサービス説明会を開催し、保護者同士の連携を支援しています。
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		・活動予定や活動の様子等をお知らせするおたよりを定期的に発行し、情報を発信するよう心掛けています。
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		
	④①	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		・現在は特に行っていません。今後の課題とします。
	非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○	
④②		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		・年2回、法人内で訓練を行っています。
④③		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	○		
④④		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		・弁当・の持参、アレルギーのある児童はおやつの持参もお願いしているので、指示書の提出をさせていただいていませんが、症状が出た時の対応(薬の預かり等)は健康調査票に記入をお願いし把握しています。
④⑤		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		・ヒヤリハットの事例に基づき、ミーティングの際に対応策について確認・検討をしています。
④⑥		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		・法人内で定期的に研修を行ったり、外部の研修にも参加し情報を提供しています。
④⑦		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○		・施設に関しての身体拘束について、支援計画に記載をしていません。今後、取り入れていく予定です。